



祝 管制塔運用開始式 平成26年4月23日
運用開始した管制塔の前で記念撮影

航空自衛隊の防府基地管制塔運用開始

明星電気はこの度、航空機と無線通信による離発着誘導を行う「タワー・コンソール装置 J/FSW-2」を航空自衛隊防府基地に納入いたしました。新管制塔の運用開始に伴い、4月23日に運用開始式が開催されました。

旧管制塔は、昭和31年に通信隊保安管制小隊が発足以来、57年間の役目を終えましたが、25万3千時間の間、無事故であり、安全且つ正確な航空管制をつかさどりました。国の防衛と空の安全という重要な任務を負う航空自衛隊の管制塔システムは非常に高い信頼性が要求されます。

明星のタワー・コンソール装置は、本来のシステム機能喪失時の不測の事態においても、航空機との通信を最低限確保できるシステムになっており、空と地上のパイプライン役を担っています。

当社はこれからも、空の安全を目指した航空管制システムの進展に貢献してまいります。

(当社営業担当: 気象・管制事業部 営業部 津浦 靖弘)



雪に埋まっている穂別ダム
の手前手すり部分がダム天端部、中央は取水塔

北海道胆振地域のダム3か所に地震観測装置機器設置

国営造成土地改良施設防災情報ネットワーク事業に基づいて、厚真(あつま)ダム、瑞穂(みづほ)ダム、穂別(ほべつ)ダムの地震発生時の状態監視を行う目的で、防災情報ネットワーク事業胆振地域地震動観測設備工事が終了しました。

機器構成は、各ダム共に地震観測処理装置1式、地震検出器2基、およびデータ送信装置1式で、地震検出器はダム堤体の天端(てんば)部と基礎岩盤部に設置されています。S240多チャンネル地震計を基に構成され、検知した地震の情報を電子メールで送信します。各ダムの堤体で検知した地震情報を、関係各所でいち早く入手でき、地震発生後のダム点検に備えることができるシステムとして稼働します。

明星電気の地震観測技術が、ダム堤体観測の分野でも役立っています。

(当社営業担当: 北海道支店 植野 広和)



上: 衛星搭載モニタカメラ
下: 送受信機

祝「だいち2号」打ち上げ成功!

5月24日(土)12時05分、陸域観測技術衛星2号「だいち2号」がH-IIAロケット24号機で種子島宇宙センターから打ち上げられました。

H-IIAロケットは計画通りに飛行し、打ち上げ後約15分47秒に「だいち2号」を正常に分離しました。相乗りした4基の超小型衛星も順次分離され成功が確認されました。

「だいち2号」には、明星電気が開発を担当したモニタカメラ5基が搭載され、太陽電池パドルの展開確認やLバンド合成開口レーダ(PALSAR-2)アンテナの展開確認に使用されるほか衛星運用期間(5年間)の監視を行います。また、相乗り衛星「SOCRATES」(株式会社イー・イー・エス様)には、地上からのコマンド受信・地上へのテレメトリ送信を行う送受信機、衛星の姿勢制御に使用する磁気トルカ、磁場強度を計測する磁気センサ、GPS衛星からの信号により位置を送出するGPS受信機とこれらのほかに地球センサを、さらにH-IIA24号機にはロケット搭載カメラ3基と画像圧縮伝送装置(PCE)が搭載されています。このほか、打ち上げ時の種子島上空の気象を確認するため、ゾンデによる観測も担当しています。

当社は、これら搭載機器、打ち上げ時の気象観測を含めて、総合的に宇宙開発の発展に寄与していきます。

(当社営業担当: 宇宙防衛事業部 営業部 小林 忍)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し
安全・安心な社会の発展に貢献していきます。